

# 浅井町 ふれあいたより

1月号

発行日 平成26年1月1日 発行者 浅井町地域づくり協議会

一宮市浅井町前野字郷西 85 (浅井町出張所内)

## 新年のごあいさつ

## 浅井町地域づくり協議会 会長 奥田義徳

新年あけましておめでとうございます。皆様には輝かしい初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

本協議会が発足して1年、「地域防災の促進と青少年の健全育成」を重点方針に、活動を続けてまいりました。昨年9月1日の「防災訓練」には346名が参加され、災害発生時の緊急対応について各種体験訓練を実施、また「ふれあいたより」に浅井4校の校長先生の寄稿文をはじめ町内の活動や話題を掲載して、子供たちの健全育成と地域の結束強化に努めてまいりました。今後とも、「豊かで住みよく健全なまちづくり」を目指して活動を進めてまいります。なにとぞ一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 人権週間での取り組み

## 一宮市立浅井南小学校 校長 北川敬治

12月4日から10日までは人権週間で、本校でも様々なことに取り組みました。12月2日には、人権に関する校長講話を朝礼時に行いました。ここでは、人権週間が行われること、人権とは何か、いじめは許さない等の内容について具体的に話をしました。

各学級では、「いじめ防止について考える」話し合いを学級活動で実施しました。1,2年生では、「ともだちのよいところを見つけよう」、3年生から6年生については、「ちがいを認めてともに考えよう」のテーマのもと、子ども達は、自分の意見を積極的に発表していました。12月6日の児童集会では、



は、人権集会と名付けて「わたしたちのクラスの取り組み」を各学級の代表者が発表を行いました。各学級で日常的

に行っている人権を守る取り組みを発表したり、学級活動で話し合ったことを発表したりして、人権に対する取り組みについて深く考えることができました。また、12月9日には、劇団「風の子」に来てもらい「おさな星のうたたね」の劇を観ました。みんなからいじめられていた主人公がみんなのため

めに、氷魔王と戦うという内容で、子ども達は想像力を働かせながら、主人公の勇気に感動をしていました。この他に、人権を理解する作品コンクールに参加したり、放送で人権について呼びかけを行ったりしました。

人権週間を機会にして、人を偏見の目で見たり差別をしたりしないこと、一人一人は大切な人間であることを理解してくれたと思っています。そして、いじめは絶対にいけないという意識とみんなと仲良く楽しく学校生活を送ろうという気持ちが高まってきたと感じています。今後、この人権週間だけに終わらず、日常的に行動できることを願っています。



## 浅井北小学校 i-ビルでプレゼンテーション 「ESDとユネスコスクール」

「ESDユネスコ世界会議あいち・なごや」を1年後に控え、昨年11月24日(日)、一宮駅前ビルで開催されたプレ・イベントで、「地域といっしょ笑顔輝く浅井北小 ESDとユネスコスクール」と題し、6年生4名が活動発表を行った。(「ESD」は Education for Sustainable Development の略で、持続可能な開発のための教育をさします。)

はじめに、環境、貧困、人権、平和、開発といった現代社会がかかえる課題を挙げ、これらを自分の問題ととらえ、身近なところから取り組むことが持続可能な社会の構築につながるとして、ESDカレンダーを作成・実施した活動内容を発表。

ホテルの飼育等「自然環境学習」、福祉施設の訪問や奉仕活動による「人権学習」、そして古墳探検や琴演奏、伝承遊び等「歴史・伝統・文化学習」。こうした地域と連携した体験学習を通して心や行動が変化し、郷土や国土に愛着と誇りを持てるようになった。自然や社会、人とのかかわりをさらに深め、命の大切さを学び、身の回りの種々の生き物と共存共栄して次の時代へつないでいきたいと結んだ。

私たちは未来をアウトソーシングするわけにはまいりません。一人ひとりが持続可能な社会づくりを目指して身近なところからその歩を進めていかねばなりません。(地域づくり 奥田)



## サンタさんからプレゼント浅井児童館クリスマス会

12月7日(土)浅井児童館恒例のクリスマス会が開催されました。参加者は112名。キャンドルサービスに始まり、ハンドベル、シンセサイザーの演奏、ゲームなどを楽しみ、最後は待ちに待ったサンタクロースがあらわれ、子どもたちは大興奮。どの子もサンタクロースからプレゼントをもらって至福のひとときをすごしました。素朴で小さな夢が豊かにふくらみ、子供たちが健やかに育ってほしいと願います。(児童館 塩田)



## 浅井公民館 芸能発表会と親子もちつき大会

12月8日(日)、浅井公民館で芸能発表会が開催され、17の文化クラブが晴れの舞台へ上がりました。出番直前のドキドキした表情を見せた方も、発表中は生き生きと練習の成果を発揮。民謡・カラオケ・詩吟・ダンス・大正琴・太極拳・健康体操・日舞など多彩な発表が延べ650名の方々を惹きつけ、会場は笑顔と拍手でいっぱいでした。『継続は力なり』と言いますが、まさにその力を皆さんが発表会で見せてくださいました。

また、北風が雪のたよりを運んでくる年の瀬の12月15日(日)、恒例の親子もちつき大会が行われました。蒸しあがったもち米を杵と石臼でつく姿は、最近では見られなくなりました。最初は杵の重さに驚く子供たちもすぐ笑顔に変わり、力いっぱいついてくれました。200名が参加、今回も浅井中学校3年生40名が、ボランティアで応援してくれました。

季節の行事を子供から大人までみんなが楽しめることは素晴らしいことだと思います。つきたてのお餅の味にどなたも自然に顔がほころびました。この1年、浅井町の皆様と楽しく過ごせたことに感謝し輝かしい新春を迎えたいと思います。(公民館 川路)

